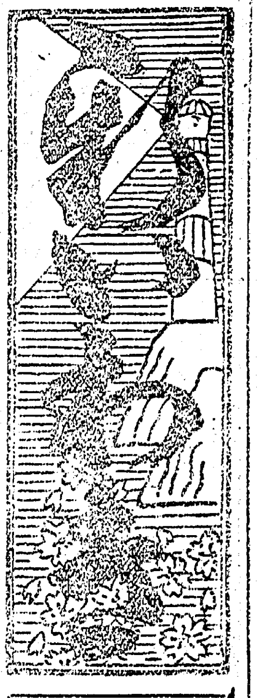
（昭和五年三月廿一日第三種郵便物認可）　新いわき　昭和十三年十二月十一日（日曜日）　第二千五十五號（一）

十二月十日（夕刊）



日刊（但シ日曜祭日翌日休刊）一ヶ月廿五錢 郵稅十五錢 一部二錢
廣告料 一行四十錢 場所指定 二十錢增
發行兼編輯印刷人 中谷政家
發行所 平町字六間門二三 いわき新聞社

常識講座

ヴイナスは愛と戀との神、女性美の典型の意ウインクなら眼ばたき或は戀愛または電波、色目をつかふことの謂でもある、ウイニング●スマイルは魅力たつぷりの微笑のことだ、

強竊盜五十余件の賊

平署近來の大捕物帳

被害額實に二千余圓に達す

犯人ペンキ職工の正態

平署が昨年十月頃から管内小名濱町を中心として附近に起る頻々たる強竊盜犯人逮捕に地元警部派出所と協力必死となつてゐたが一年有餘に亘る去る八日朝遂に眞犯人と突止めた同町横町三二のペンキ職前科二犯宍戸政雄(三二)の寢込みを襲つて檢擧した同人が表看板とするペンキ職は名のみのもので右強竊盜の中主なるものを上ぐれば昨年十一月十一日午前三時頃町內字竹町六二鮮魚行商松原はる(四六)の女暮しに忍び短刀樣のものを突つけて背部に輕い刺傷を與へて脅かし在金を出せと迫つたが氣丈なはるは同人を突き飛ばすと同時隣家の救ひを呼んだので逃走の同夜町內二、三戶を荒し越えて本年三月中小名濱町字松の中元日水工場會計課長吉本啓一氏方に忍び衣類金品六百餘圓を竊取せる贓品の中に類の少ない時計價三百圓の同家の家寶的なものがあり次へで同町字上町の料理店から現金三百餘圓、本年八月中は字定西馬目くに方へ押入り發見されて居直り強盜で四十余圓の現金を奪ひ同夜更に附近の田口魚粕工場へ忍び發見された女中に短刀をぎして家內を追ひ廻り家人の起床に望み果さず逃走、また去る二日未明町內松の中べニヤ菓子店平高原きよみ(五二)へ出双庖丁を携へ押入りきよみの上に馬乘りとなつて在金を出せと脅迫したが應じられず菓子類その他數圓分の商品を奪取逃走せる外五十余件で被害高二千余圓に達してゐるが今回捕はれる迄犯人は夜半町內の連中に追はれたことも前後二三回に及べるも或は賭博からの逃走と偽り又は罪の暴露を恐れて追ひつめられた築港の岸壁から海中に飛び込み姿を晦ませる等の神出鬼沒を以て巧みにその筋の網をのがれてゐた、一方平署に於ける嚴重な睨みは同人を賭博關係で監視警戒を續けてゐたところ本年八月に至り藝者風の怪美人が町內の質店へ不審な指環と時計を入質した、其れが平沖見町清野屋料理店と同町日本水素工場職工嚴武兵衞の所有品であるもの判り是より先き湯本町の質店に於ても前記日水の元會計課長吉本啓一氏の盜難品が同じく怪藝妓風の入質せるものとして現はれ同美人は東京生れの宍戸の妻ふよ(三二)であることを確かめ夫婦共謀の犯行と突止むるまでのその筋の苦心には小名濱派出所小林警部補夫人しづかさんに晝夜の分なき血みどろな協力があるなど、平署の菊地田邊兩刑事が機をねらつて八日朝有無を云はさず縛したものであるが平署近來に於ける大捕物である

るであらう

戰病死の公電は誤

佐藤軍曹は元氣だ

夢かと喜ぶ植田町の留守宅

死は伊達郡出身の曹長

石城郡植田町の岩間出身佐藤義雄衛生軍曹は鈴木部隊下に活躍されてゐたまた九月十八日戰病死の旨公電があつたので實家では近親と共に其の靈を弔つてゐたところ今月七日朝同軍曹から十一月十二日の現地發で「漢口攻略戰に參加目下〇〇方面で元氣でゐる」との便りがあつたので一家は夢かとばかりに喜び居るところへ原隊からも町役場宛に義雄軍曹の戰病死は伊達郡伏黑村字上の戶出身衛生軍曹佐藤嘉雄君との誤報である旨通知があつたので生存が確實であるとわかり一家近親の喜び一方でないが戰死の公電から恰度八十五日目である、尙ほ同君の留守宅には父熊吉(六九)さん母ひで(六三)さんと妻きせ(三四)さんとの間に長一(一二)君まさ子(三)さんがある

感心な幼女祈願

石城郡四倉町の仲町下駄商片寄寅吉さん次女同町小學校尋四生かつ子(一二)さんは今次事變勃發後の一ヶ年三ヶ月の間每朝五時の早起をなし町內字新町の諏訪八幡神社境內の清掃と皇軍の武運長久祈願を續けてゐる

平市公會堂で二回

星代議士の歸朝講演

明後十二日學生と一般の爲

銃後の決心と大陸發展

米國視察から歸朝したる代議士星一氏の視察講演會は愈よ明後十二日平市に於て市公會堂の壇上に起つに先き立ち午後零時半から一時間磐城中學の招聘に應じ午後一時四十分より公會堂に移り

平商業校　佑賢學舍　磐城靑年校　磐城高女　藤田女學校　平陽女學校　磐城家政學院等

約二千五百を聯合する入場のため非常時下に於ける銃後人の決心から大陸への進出について同じく一時間の講演を終り午後六時から同公會堂に於ける一般の聽衆に蔣政權の長期抗日に對する長期建設の心構へ我が不動の決意に副ふ大陸への發展その他縷々二時間余に亘る熱辯を揮はれる筈であるから場に臨るゝ來聽を見

廢品回收展の參觀

三日間に二萬七千人

平市公會堂に開催された廢品回收展覽會は三日間に於て實に二萬七千人の參觀者に達する盛況を以て會を閉ぢたが捨てゐた廢品拾つて活かせの宣傳は時局下に大きな效果を收めたことを語られてゐる同展覽會に掲示された平近郷一ヶ年の廢品回收高を抄寫すれば次の如く實に驚くべき數字に上つてる

▼鐵屑鑄鐵屑七五萬貫　鋼鐵同三五万貫　銑力同一五萬貫▼金物屑銅屑六千貫　眞鍮同八千貫　鉋金同四千貫　鉛同一万貫　銀紙八百貫　亞鉛同千貫　ニユーム千貫▼ボロ類五千貫▼空樽空罐擬油樽五万七千本　酒同五千本　燒酎かめ一萬五千個　空叺十萬枚　石油罐十三萬個　種油同七萬本　菓子罐七萬個(以上)

防空訓練の功勞者を表彰

過般の第二次防空演習に於ける功勞者石城郡川部村駐在巡査柴田巡査(現植田署內勤)の妻さと(三八)さんと同村小野こときさん(六四)兩名は同演習中の七日間每朝四時から夜の十一時まで同村防護團本部の炊事一切を引受け獻身的の活動をなせると防護團からの上申で近日村役場から表彰されると

防空訓練の成績

本田平署長の講評

まだ防空關係者が眞劍になつて活動して居るにも拘はらず不眞面目な態度で傍觀したり醉態を表はして濫行した者もあつた樣であります家庭防空群は獨り燒夷彈の消火に付て必要なばかりでなく現に須賀川管內湯本の火災の時や小野新町の失火等の際は敢然防火に從事して天晴れ其の延燒を防止して居ります、又平案に於ても納稅の督勵とか廢品回收とか其の他近隣相扶け相砥勵して幾多なすべきことがあるのでありますので此の機會に一層その組織を强化し充分育て上げて戴き度いのであります、防空訓練が動もすれば當局者の仕むのやうに思ひ其の都度ゝ月蠅い樣な態度のものもありましたが今次訓練に於ては此の家庭防空群の力に依りまして自然的に湧き出づる熱烈なる防空の叫びとなつたのであります之れが即ち國民防空の眞の姿であります、支那事變は愈よ長期建設に入ると共は他面に於てまた益々防空の重要性を考へさせらるゝものがあります、何時眞の防空を實施するやも計り難き狀況であります どうか一時的の訓練にのみ終ることなく其の不備な點等に付ては將來繼續して之れが是正改革を加へられ以て國土防衛のため御協力あらんことを希望致して已みません、終りに本防空訓練に付て終始獻身的な御努力を致された消防組、防護團、家庭防空群各位並びに關係各方面の方々に對し深甚なる謝意を表するものであります、【完】

戰地の便

千載一遇の好機

粉骨碎身の覺悟

〔2〕平市柳町出身　宇佐美芳位

數ならぬ私も日本男子の一員として千載一遇の好機會なれば及ばずながら本性の發揮して貴き皆々樣の御厚志の万分の一なりとも酬ゆる決心で御座います、未だこれとて見るべき働きに名を揚げる樣な機會はありませんが聊か君國のために奮鬪、粉骨碎身後方部隊の任務を遂行すべく左記の四項目を嚴守實行し專心御軍務に勉めて居ります一、戰列部隊に對する積極的犧牲心の發揮、二、業務に關しては主動先制、三、軍紀風紀の緊肅刷新、四、部隊と掌握と命令の實行監督、以上何卒今後共御聲援下され滿足にて働かれるやう御後援のほど懇願いたします、貴き御厚志の數々誠に有がたうございます、日增しに寒さも強くなつて參ります、皆々樣何卒御身御大切に遊されるやう御願ひ申上げます、先づは陣中にて是れとて暇もございませんので其の上淺學非才の身、加ふるに亂筆、誤字、誤文も多々これあり文言も前後して居り且つ時偶々敗殘兵が線路を〇〇して後方攪亂のために爲さんとして居りますのでこれで失禮いたします、尙ほ慰問品を頂いた草野嘉子樣へも御禮狀差上げますのが本來ですが甚だ勝手ながら御傳言下さるやう御願ひ申上げます、

淚ぐましい奮鬪

留守宅の妻女

石城郡植田町の岩間精米業鈴木とり(四二)さんは夫壽君の出征後女手一つで家業に勵み幼兒二人を抱へる淚ぐましい奮鬪をなしつゝあるが壽君の歸還までに殘された一千圓の負債を綺麗に拂つて見せるとの決心に精米から配達の餘暇豚を飼育する等の精進振りが町民を感服させてゐる

俵裝改善の視察

平市農業倉庫關係者猪狩四郎氏外二名は前田穀檢支所長と共に明十一日双葉郡長塚の穀檢支所管下その他に俵裝改善の視察見學をなすと

代理店
雲州神國印ソロバン
優勝印高級ソロバン
ミヽく印高級ソロバン
ウエル萬年筆
ライトインキ
ムツソリニペン
玉泉堂の書道筆
古梅園の書道器
魁文堂
電話三一三

農家の庭

小學兒童の働で小作から自作

（上）借りた田畑の實習で以て五ヶ年計畫

茨城縣西茨城郡東那珂村小學校では兒童の農事實習に當り「小作農より自作農へ」をスローガンとし五ヶ年計畫で水田二反歩の購入、作業場、堆肥舍の新設を期し去る昭和十一年から水田七反歩、畑四反歩の耕作實習と家畜飼育を開始し職員生徒一貫となつて生産擴充、節約利用に努力を續け成果を擧げてゐる、十二年度における農業經營實際の一端を拾ひ上げて見ると、

▽水田、七反歩の收獲三十五俵、うち小作料二十一俵肥料代四俵、諸雜費二俵、殘り純益八俵＝百四圓、水田二毛作として二反歩を利用、甘藍、馬鈴薯、大麥を栽培收獲純利＝百圓

▽畑、四反歩前作小麥栽培春作として茄子、トマト、胡瓜、胡麻、里芋を定植、蔥苗販賣後々作として玉蜀黍、萵苣を作り、秋作にホーレン草、蔥苗、甘藍苗、玉蔥、白菜、三ツ葉を栽培一年を通じての純利百餘圓、家畜飼育としては

▽養鷄、白レグ雌十五羽を農業部の殘殼、雜殼のほか農倉ハキタメを集めて飼育產卵年收三十圓、

▽畜牛、牝一頭、春より夏は青草飼料、秋と冬は切藁及び養鷄產卵により穀を買ひ入れ飼料とし仔牛牡一頭出產七十圓に賣却、

▽養豚、牝一頭附近家庭より殘滓物を集めて飼料とし一年一回仔豚をとりて約三十圓の利、副產物を堆肥として一ヶ年に牛二千貫、豚一千貫を產し地力を維持し金肥の節約をなす、

立つに線一第の會品食冬二勝戰軍皇

電一四〇

ソルマ

豐富陳列

漸新型

中折帽子　子帽子

デーリーサービス

日	品目	定價	品目	定價
月	カツレツ	三〇	チキンライス	三五
火	ポークチャップ	三〇	カツ丼	三〇
			親子丼	三〇
水	エビフライ	四〇	ハヤシライス	三〇
木	メンチボール	三〇	オムライス	三〇
金	コロッケ	三〇	ハムライス	三〇
	鯛フライ	三五		
土	ビーフテキ	四〇	カレーライス	二五
日	ランチA	四〇	以上の一割引にて差上ます	
〃	〃B	三〇		
〃	C	二〇		

特にマルトモのランチは…

材料のあるかぎりを盛つて居る氣の利いた新鮮な物を御選び出來ますので御客樣からいつも御好評を蒙つて居ります

RESTAURANT MARUTOMO

平市停車場通　マルトモ食堂　電話二三番

病室增築、手術室完備

産科　婦人科　醫學博士　五十嵐雄二

平市新川町「電話二六九番」

專門　皮膚科　泌尿器科　性病科

診療時間　午前八時より午後九時まで

醫學博士　江尻伊三郎

平市田町　電話六九一番

江尻醫院

內科、小兒科　外科、花柳病科　耳鼻咽喉科　レントゲン科

平市田町　電話五一三番

高久病院

院長　醫學士　高久忠

年末年始の贈答品に　兵隊さんの慰問品に

鄉土色豐かな　たひら羊羹

如何なる長期間にも、如何なる高溫にも、絕對に變質せず、遠い戰地の慰問品として最適（東京衛生試驗所證明濟）

平市銀座通り　松月堂　電話二〇六番

（販賣所）

平驛前　佐原屋

平驛構內　賣店

平驛ホーム立賣

東京丸ビル二階　福島縣物產陳列所

平田町（三丁目裏川岸通）

明晝晝眠科醫院　電話六六九番

入院應需（自炊の便あり）

食事。喫茶。酒場を營ねた。

平田町　電三五二

レストラン　サロン

安田系統の帝國海上

帝國海上火災保險株式會社

平代理店　關內正一

平町二丁目　電話一六番

事務取扱者　阿部助次郎

新時代の要求

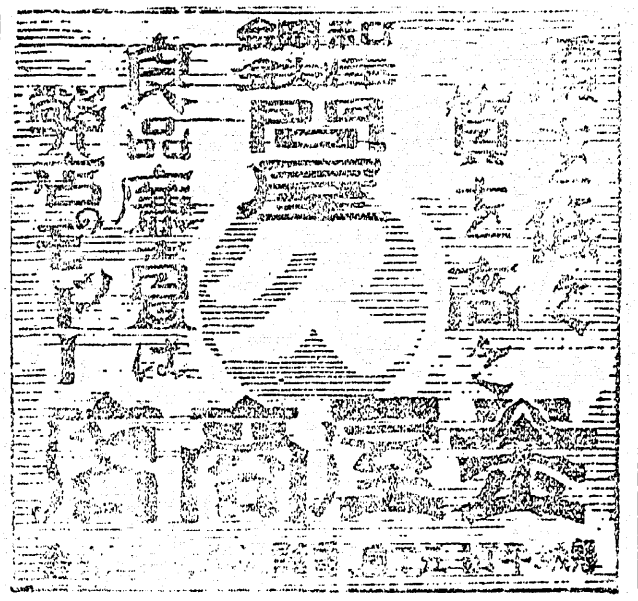
附屬事業に等外看護婦を特設いたし皆樣の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します、

平市南町　電三〇七　平看護婦會

會長　清野キヨ

經濟的な御便宜御用命をお願ひ致します

御手不足の御家庭　輕い御病人の付添　姙婦產婦の御家庭



平病院（平市元共濟病院跡）　電話六四一番

院主　院長　醫學博士　鈴木定藏

內科　院長　鈴木定藏

小兒科

外科　內臟一般外科　副院長　高橋俊幸　皮膚泌尿器科

レントゲン科　物理的療法科　部長　鈴木定藏

藥劑科　部長　吉本孝平

診療時間……每日午前八時より午後九時まで夜間診療に從事す（急患は此の限にあらず）